

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	コロナ禍となってから受診以外では外出の機会が減ってきている。利用者にもストレスになっていると思われるため、少しでも外出の機会を増やしていくことが必要と思われる。	庭に出たり、近所を散歩するなど、日常生活の中での外出の機会を増やし、利用者の生活の質の向上を目指す。	これから過ごし易い季節となってくるので、朝晩に庭に出たり、感染対策に注意しながら近所を散歩するなどして、外出の機会を増やす。庭いじりが好きな利用者とは、一緒に行くようにする。	1ヶ月
2	4	コロナ禍になってからは、県の対応ステージの状況によっては運営推進会議への外部からの参加を遠慮してもらっていることもあり、外部からの意見を聞く機会が減っており、意見を聞き、運営に活かす事が必要である。	運営推進会議への参加者を増やし、外部評価の結果や課題を議題としてあげ意見を聞き、運営に活かしていく。	現在、運営推進会議には地区長や民生委員の方に参加してもらっているが、その他に参加してくれる方が居ないか、会議で相談し検討する。	3ヶ月
3	2	コロナ禍により地域との付き合いが希薄となってきている。今後は感染状況に留意しながら、地域との関係性を築いていくことが必要である。	コロナ禍が落ち着いたら、町の催しや一斉清掃などに参加して地域の方との関係性を図る。また、町内会への参加を検討する。	現状では町の催しに参加することは難しいが、町の文化祭に出展するなど、出来る範囲での関わりを持つ。また、町内会がどのように運営されているかなど調べ、法人にも町内会への参加を相談して、参加を検討する。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月